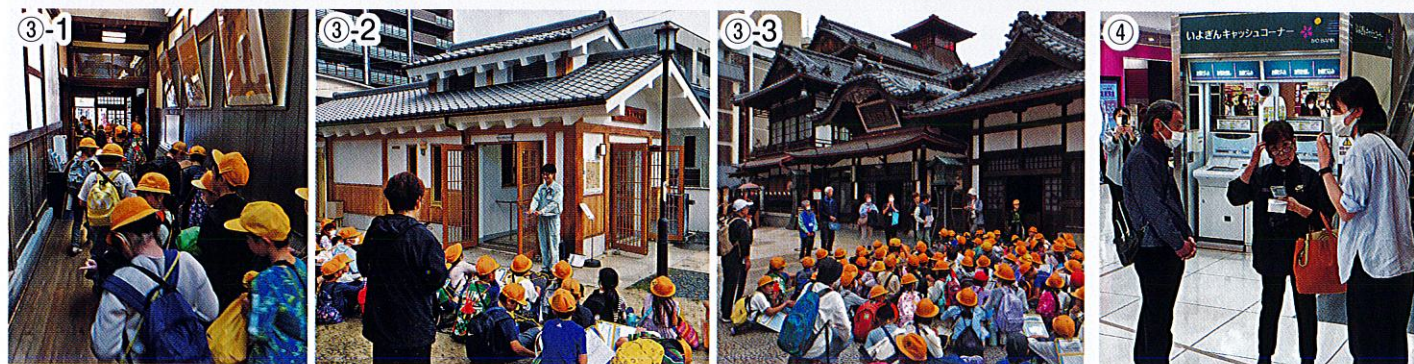
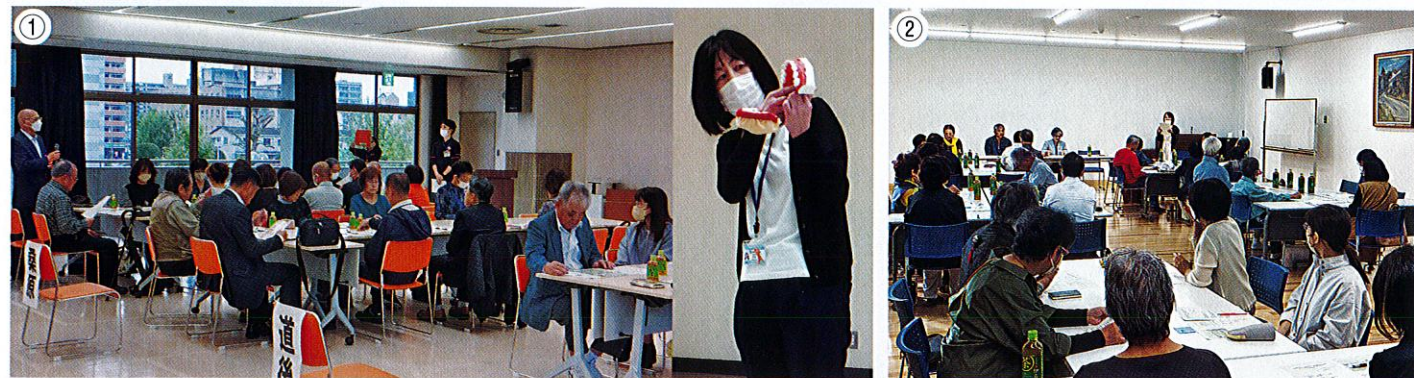


道後地区社協関連ニュース (2024.3~2025.2)



- ①「福祉講座」10月22日火
湯築・道後・桑原の社協関係者が集い、松澤歯科衛生士より「お口の老化を防ぐために」をテーマに、お口の体操や予防法の指導を受けました。
- ②大分市数戸校区・鶴野校区民生児童委員協議会交流研修会 10月25日金
各民協の活動紹介や「民生児童委員活動のこれから」についてのグループワークや意見交換を行いました。
- ③第12回 道後温泉入浴体験事業 10月31日木
5年半ぶりに全館営業再開となった道後温泉を中心に、第四分湯場、冠山、空の散歩道、湯神社、中島神社等の見学と説明を聞き、道後小学校の3年生の男女児童が故郷の歴史を学びました。
- ④「還付金詐欺の声掛け訓練」への参加 11月13日水
松山市消費者ネットワークの啓発活動として行われ、訓練の様子が市広報番組で放送されました。
- ⑤第10回 サロン交流会 12月19日木
道後地区の4サロンが、1年間の実績を持ち寄り、互いの工夫した点や苦労した点、耳寄りな情報提供などを話し合い、来年度の活動の参考になるように交流会を開きました。
- ⑥松山市民生児童委員HPの開設 R6年3月26日火
松山市民生児童委員協議会のウェブサイトを開いたしました。身近な相談相手として、随時情報を発信するよう努めていきます。令和7年1月27日(月)には、えひめ民児協のHPも公開されました。



地域の話

令和5年8月に着工した道後公民館改修等工事が令和6年8月に完成しました。皆様には、長期間にわたり大変ご不便をお掛けしましたが、前後方向にドアがある「スルー型エレベータ」を設置し、車いすの方も中で向きを変えることなくご利用いただけます。併せて、講義室や料理室、トイレなどもリニューアルされた「居心地の良い公民館」に是非、お越しください。



編集後記

最近、公民館や分館の役割について考えることが多かったのですが、先日公民館の研究大会があり、テーマは「人・モノ・ことをつなぎ「コーディネート」する公民館」でした。時代のニーズにより、「防災」「防犯」「健康」「団体の連携」など、皆で協力する時代の到来が予感されます。

編集委員
啓発調査部長 藤井 康



道後地区の動き

面積	2.1km ²
世帯数	5,256世帯
人口	10,878人
男性	5,017人
女性	5,861人
65歳以上	2,861人
高齢化率	26.3%
0~14歳人口	1,490人
(令和7年2月1日現在)	
編集・発行 道後地区社会福祉協議会	



南海トラフ大地震に備えて!!



～ 阪神淡路大震災から30年 ～

民生児童委員協議会からのお願い

未曾有の災害が起こる中、道後地区において安心して暮らせる取り組みを、様々な組織と連携し進めていきたいと考えております。同時に松山市では、災害対策基本法の改正に伴い、独居・ねたきり高齢者「個別避難計画」の作り替えを行っております。

その中で、地域の自主防災組織との連携やご近所とのつながり、今飲んでる薬や通院している病院、介護サービス内容などお伺いをして、可能なことを共有し災害時に困らない体制を作っていこうと考えており、民生委員がお尋ねしております。

災害が起こったらどうしようではなく、いつ災害が起こっても「大丈夫だ!」と思える体制と地域力をつけていくためにご協力をお願いいたします。

自主防災組織の役割と活動について

自主防災組織とは、「みんなの地域はみんなで守る」という、地域住民の連携に基づき結成される防災組織のことで、災害の発生時に、住民が連携を取り互いの身を守るための活動を行ないます。

その必要性は、災害はいつ発生するか不確定であり、規模によっては道路の寸断や救助・救援要請の集中により、公共防災機関による支援・救出・救護が期待できないことがあり、このような事態が発生したときには、地域で共助による防災活動を展開し、お互いの命や財産を守らなければなりません。

また、地域の災害時要援護者となる高齢者、身体等に障がいのある方や介助の必要な方に救助の手を差し伸べることができるのは、身近にいる地域の我々です。自主防災組織を結成し、災害発生時の役割分担などの体制を整えておくとともに、災害時要援護者、避難経路などの情報を共有化することで、一人でも多くの命を守ることができます。

今後の防災対策は、地域と行政や各防災機関と協調して行うことが求められます。

自主防災組織の活動は、平常時及び災害時があり、平常時の活動の成果を災害発生時に活かすため、日頃から地域で役割分担を決め、防災資材の備蓄状況や取扱い方法、あるいは地域内の災害時要援護者の情報確認を行ない、訓練を実施しておくことが大切です。

自主防災組織の我々が行うことの実施状況は、次のとおりです。

- ①防災グッズや資機材の展示 (実施済)
- ②応急給水訓練 (実施済)
- ③避難所開設・受付資機材組立訓練 (実施済)
- ④炊出訓練 (実施済)
- ⑤防災講話 (実施済)
- ⑥災害図上訓練
- ⑦マイタイムラインづくり
- ⑧地域のタイムラインづくり
- ⑨避難行動要支援者の支援計画作成
- ⑩要支援者避難訓練

以上の活動を行い、地域防災の一助となるように今後とも努力したいと思います。



道後地区共同募金会

地区のみならずはじめ、各町内会、民生児童委員の方々には、令和6年度共同募金に、積極にご協力いただき、誠にありがとうございました。

共同募金の一部は地域に還元され、高齢者クラブ・青少年健全育成・ふれあいいきいきサロン事業等に活用されています。今後とも、募金の趣旨をご理解いただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



サロン活動

地域の65歳以上の人達で作る健康維持などのためのサークルです。道後地区には4サロンあります。
近隣の知り合いを増やし、ともに介護予防の世界を学びながら、地域の未来を創っていきましょう。
(2千円までの年会費と市社協の補助金、共同募金配分金からの支援で運営されます。見学自由です。)

サロン活動は、地区社協の最も大きな事業で、地区社協OBも大勢支援しています。



サロン名	代表者(連絡先)	活動場所	開催日	時間
①フレアイサロン石手 (男性4名 女性20名)	渡邊 香	石手分館	第1・2水曜日	10時~12時
	脳トレ・まづイチ体操・「しゃぼん玉」のハーモニカ演奏・巳のえと飾り			
②道後サロン・マドンナ (男性3名 女性6名)	油野 秀樹	道後公民館	第2・4火曜日	10時~12時
	脳トレ・ゆげゆげ体操・スカットボール・笑いのヨガ			
③フレアイサロン道後 (男性1名 女性16名)	山田 妙子	道後公民館	20日(除土日祝)	10時~12時
	脳トレ・手芸(うちわづくり)・アロマ作り・レクリエーション			
④サロン もみじ (男性4名 女性6名)	上田 孝行	1階集会室	第1水曜日	10時~11時半
	ラジオ体操・脳トレ・童謡・ナツメロ・お茶会			



道後小学校

校長 佐藤 郁子

道後小学校長2年目になりました。今年も「笑顔で登校 満足して下校 明日も行きたい学校」を目指して、道後っ子的ために全力で取り組みます。

① 夢をかなえる授業とほめ言葉のシャワー

今年度は全クラスで「夢をかなえる授業」を行いました。人はいろいろな願望をもっていますが、その願望(夢)をかなえるための近道は、周りの人と仲良くすることです。仲良くするためには、プラスの言葉を使うこと、友達のよいところをみつけて伝えること、そうすると自分も周りの人も幸せになるという内容の授業です。昨年度から引き続いて全クラスで「ほめ言葉のシャワー」も実施しています。これは、友達の言動をよく観察して、いいところを見つけて、美しい日本語で伝える活動です。これを続けると、学級の中がとても温かい雰囲気になります。この二つの取組に対して11月に全校児童にアンケートを行いました。「夢をかなえる授業やほめ言葉のシャワーをする前より、プラスの言葉が使えるようになりましたか」という質問に対して、88.5%の児童がプラスの言葉が使えるようになったと答えています。「夢



をかなえる授業やほめ言葉のシャワーをする前より、友達と仲良くなりましたか」という質問に対して、82.6%の児童が友達と仲良くなったと答えています。「夢をかなえる授業やほめ言葉のシャワーをする前より、幸せだと思うことが増えたか」という質問に対して、79%の児童が幸せだと思うことが増えたと答えています。道後っ子たちの心に届いていることがとてもうれしいです。

② コミュニケーションゲームや対話の授業
本校では、コミュニケーション力を高めるために、コミュニケーションゲームや対話の授業に力を入れています。週1回のコロナタイムでは、友達の意見を聞いたり自分の意見を伝えたりする活動を継続して行っています。「質問じゃんけん」「好きなお寿司のネタ教えて!」「教室にあふれさせたい言葉あつめ」など、テーマを決めて話し合ったり、ゲーム形式で背中や手帳に貼られたカードに何が描かれているか当てたりしています。

ここで大事なのは自己開示ができるかどうかと友達を100%受け入れることができることです。この活動を継続して、コミュニケーション力の向上はもちろん、道後っ子全員が幸せ度100%の学校だと感じることがを願っています。





道後中学校

校長 客野 英司

Q1: ご自身の趣味は?

音楽鑑賞、読書が趣味です。よく聴く音楽は、自身が英語教員であったことから、1970年代や80年代の洋楽です。また、日本の昭和のフォークソングも好きで、中2のときに親にアコースティック・ギターを買ってもらい学生時代まではよく弾いていました。教員になってからはほとんど楽器に触れることもなかったのですが、一念発起して昨年8月の夏祭りで道後では、ステージ発表で拙い演奏をさせていただきました。

Q2: 愛読書は何ですか?

時代小説が好きで、東京で2年間単身赴任をしていたとき、通勤電車でまとまった時間があつたので、50巻を超えるシリーズものの時代小説を読みました。また、藤沢周平さんの作品も好きで、ほぼ読んでいます。長編、短編もあり、映画化されている作品もあって、親しみやすいです。

Q3: 貴重な体験は?

松山市内の中学校に勤務していたとき、文部科学省から「英語教員6か月研修」としてアメリカに派遣されました。最初の2か月は、ペンシルバニア州フィラデルフィア、

後半の4か月はルイジアナ州ニューオーリンズで、どちらも現地の大学に通いながら、英語や英語教授法を学ばせていただきました。交流を通して、世界各国の学生たちの様々な考えや価値観、フィラデルフィアでのホストファミリーの温かさに触れたことは大きな財産になりました。また、ニューオーリンズで寮生活をしていて9月に起こった同時多発テロでは、緊張感の中で街の様子を直接見て、多くのことを考えさせられました。多様な文化に触れる中で、それぞれの文化は独自に価値のあるもので、違いはあるけれど共通するものもたくさんあることを学んだ貴重な半年でした。

Q4: 道後中の印象は?

昨年の4月に初めて校内に入ったとき、春休み中でしたが部活動中の生徒の皆さんが、とてもさわやかに挨拶をしてくれたことが大変印象的でした。地域の皆さんの温かいご支援をいただき、68年の伝統のある学校で、素直でしっかりと話が聞ける生徒たちが落ち着いた学校生活を送っています。また、行事では上級生がしっかりと全体をリードし、感動と笑顔を共有できる素敵な学校です。現在、校舎の長寿命化改修工事を行っています。工事が終わって、生徒たちが新しくなった教室で、思い切り学べることを心待ちにしています。

